

● 世界の主な地震

令和 4 年（2022 年）5 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

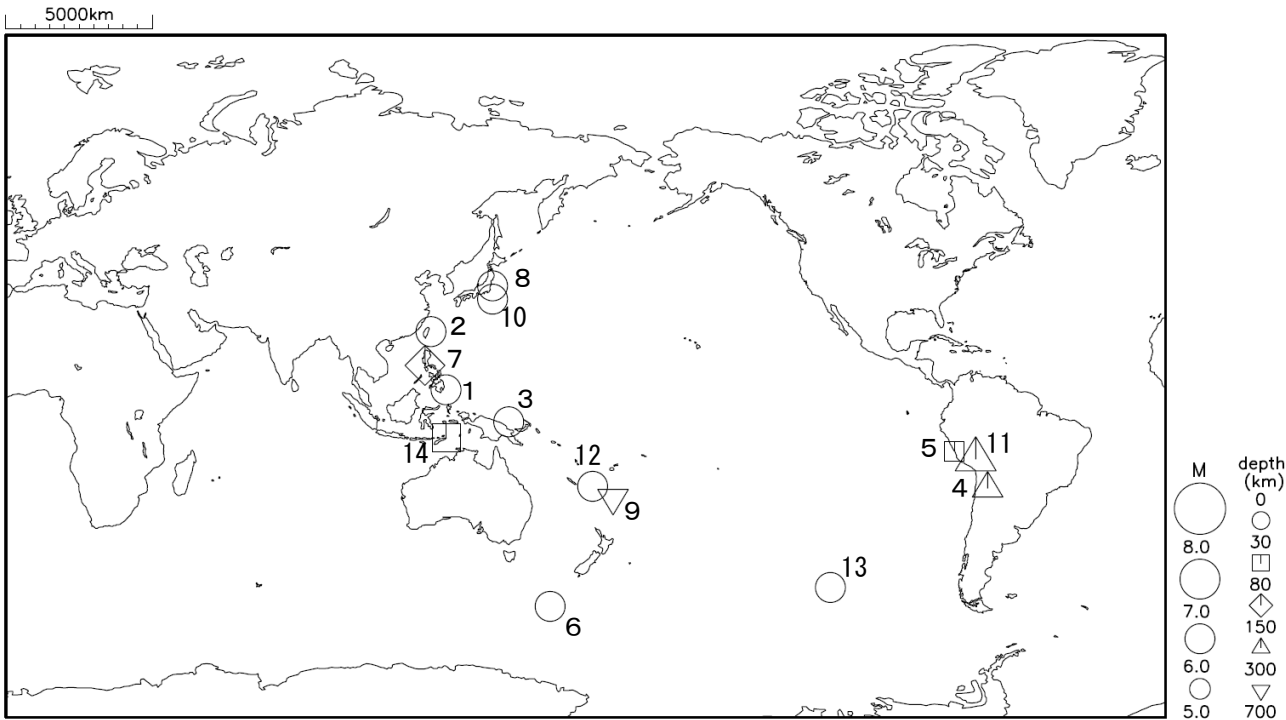


図 1 令和 4 年（2022 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 4 年（2022 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	05月05日17時21分	N 6° 31.7′	E127° 07.8′	18			6.0	フィリピン諸島			
2	05月09日15時23分	N24° 01.3′	E122° 30.0′	27		6.6	(6.3)	与那国島近海		○	
3	05月10日07時33分	S 3° 21.1′	E146° 21.6′	10			6.3	ビスマルク海			
4	05月11日08時06分	S23° 30.3′	W 66° 38.9′	220			6.8	アルゼンチン、フワイ州			
5	05月13日06時55分	S12° 22.9′	W 76° 53.5′	52			5.5	ペルー沿岸	負傷者7人など		
6	05月19日19時13分	S54° 08.2′	E159° 05.0′	10			6.9	マクオリー島			
7	05月22日06時50分	N13 ° 57.1	E120° 40.6′	129			6.1	フィリピン諸島、ミンドロ	住家一部破損1棟など		
8	05月22日12時24分	N36° 46.4′	E141° 24.2′	5		6.0	(5.4)	茨城県沖			
9	05月22日16時06分	S26° 12.8′	E178° 23.4′	590			6.3	フィジー諸島南方			
10	05月23日00時17分	N33° 13.6′	E141° 24.7′	10*		6.1	(6.0)	八丈島東方沖			
11	05月26日21時02分	S14° 51.7′	W 70° 18.4′	218			(7.2)	ペルー中部			○
12	05月27日00時37分	S22° 51.5′	E172° 07.4′	10			6.4	ローヤリティー諸島南東方			
13	05月27日03時10分	S49° 48.1′	W114° 53.6′	10			6.2	東太平洋海嶺南部			
14	05月27日11時36分	S 8° 14.7′	E127° 12.3′	49			6.2	ティモール島			

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder”
(<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022 年 6 月 6 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に
記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による (5 月 26 日のペルー中部の地震の Mw は速
報値)。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。

・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消
防庁による。

・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+ 9 時間] である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

・津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

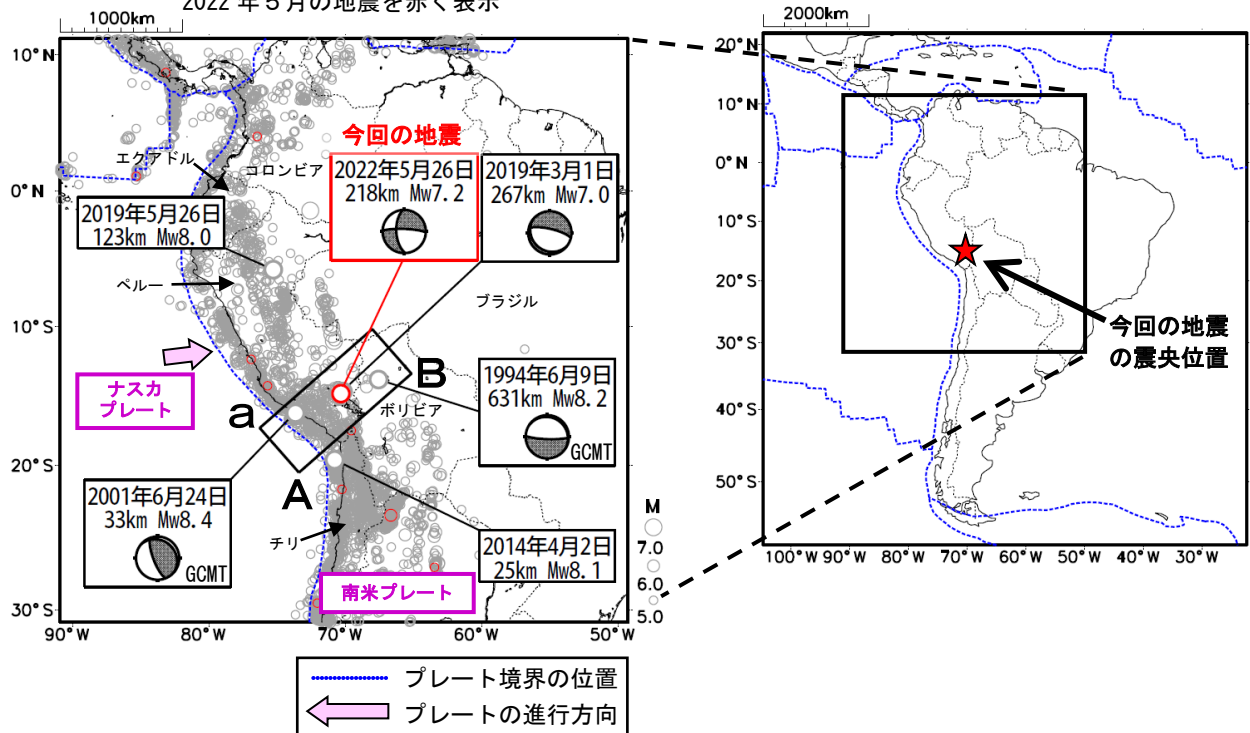
5月26日 ペルー中部の地震

2022年5月26日21時02分（日本時間、以下同じ）にペルー中部の深さ218kmでMw7.2の地震が発生した。この地震は、南米プレートに沈み込むナスカプレート内部で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

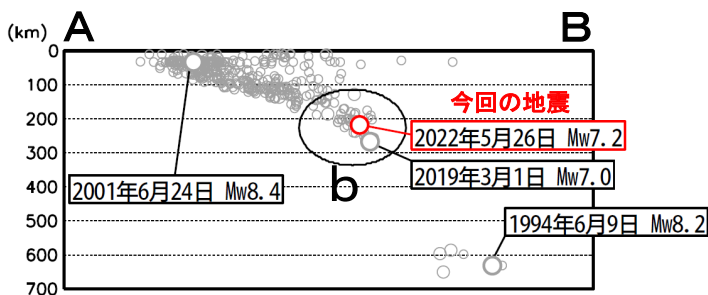
気象庁は、この地震に対して、同日21時36分に遠地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、M7.0以上の地震は今回の地震を含め2回発生している。また、今回の地震の震央付近（領域a）では、2001年6月24日にMw8.4の地震が発生し、死者139人等の被害が生じた。また、近隣のボリビアでは、1994年6月9日に深さ631kmでMw8.2の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。

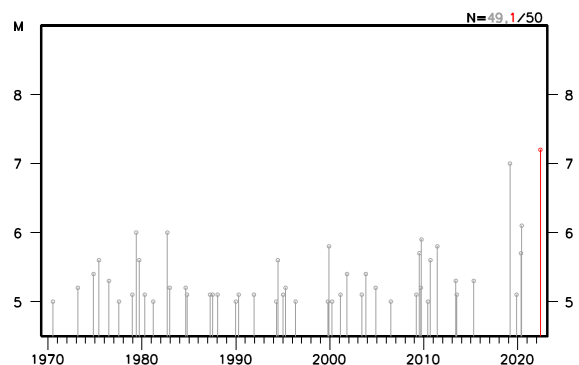
震央分布図
(1970年1月1日～2022年5月31日、深さ0～700km、 $M \geq 5.0$)
2022年5月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図



※本資料中、今回の地震及び2019年3月1日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年6月6日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1994年6月9日の地震及び2001年6月24日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.